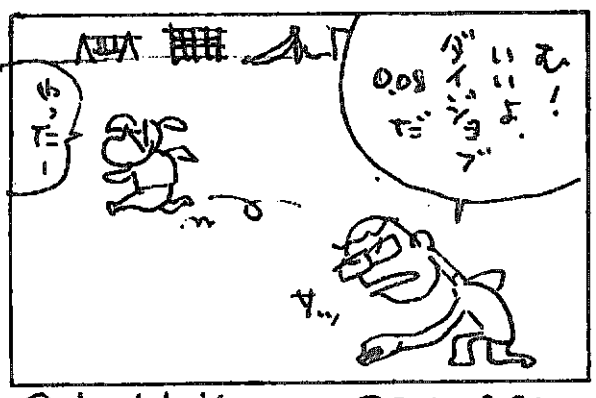
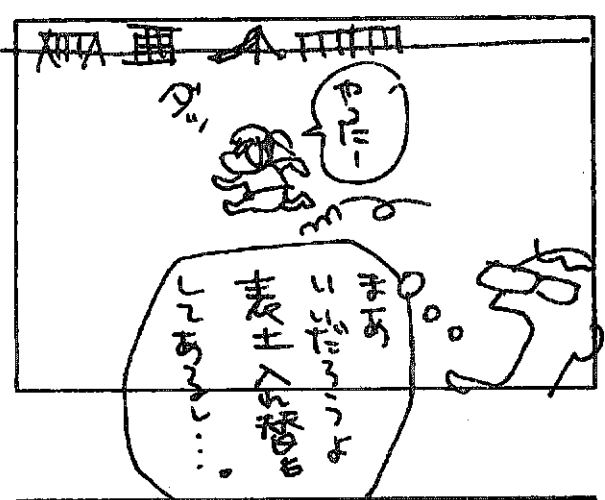
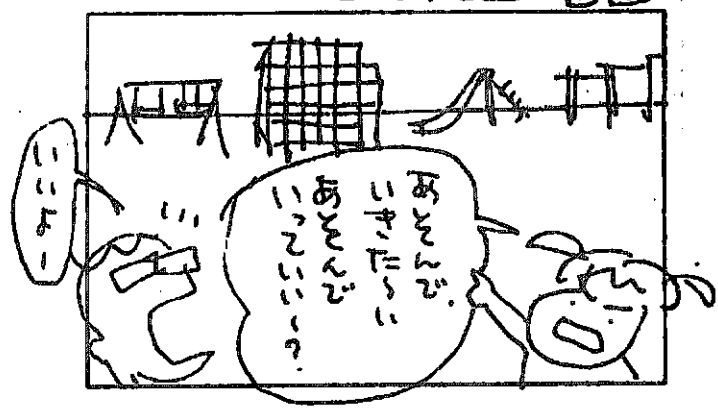


Kadiological Dosage
 赤城修司日記



@akagishuji 2011.10.30

福島市に住む、
 父親であり、
 教員である、
 一人の男性の
 福島第一原発事故からの日々。

「放射能ノイローゼ」と笑いながら
 何を思い、何と向きあってきたのか。

3.11の震災から1年半が過ぎ、福島第一原発事故のことがあまり話題にのぼらなくなってきました。

しかし、まだ事故は収束しておらず今も放射性物質が
 出続けています。

今、福島はどうなっているのでしょうか？

あの事故から福島市の日常を写真に収め、記録し
 続けている赤城修司さんをお招きし、見たもの、感
 じたものをお話していただきます。

メディアではあまり伝えられていない福島市の日常
 をお聞きたい。まずは知るために。

たくさんのご来場お待ちしております。



赤城修司 (@akagishuji)
 東京電力福島第一原子力発電所から直線距離64km地点に居住。
 福島市高校教員。http://akagidesigns.blog.so-net.ne.jp/

日時: **2012年12月9日(日)**
14時~16時半(13時半開場)

場所: **仙台市市民活動サポートセンター6階**
セミナーホール
 仙台市青葉区一番町四丁目1-3

会費: **500円**

主催: **わかめの会、ぶんぶんカフェ**
 共催: **エネシフみやぎ**

事前予約歓迎致します
 予約・お問い合わせ: **cafebunbun@gmail.com**
070-6510-5023

「僕が見た福島市」
 福島市高校教員赤城修司さんのお話会